

研究名：視線計測を用いたASD（自閉スペクトラム症）診断補助装置の臨床的有用性検証とAIを用いた進化型診断補助装置の開発

1. 研究の目的

本研究では、視線計測技術をもって自閉スペクトラム症の根拠となる客観的・定量的指標データを収集・解析し、診断アルゴリズムを作成し、診断補助装置の有用性を検証するとともに、更にその収集した患者および定型発達児のデータについてAI学習を用いて、補助診断機能の進化を図ることにより、診断を短時間で正確に、侵襲なく行うための機器・プログラムを含む統合的診断システムを開発することを目的とします。

2. 研究の方法

- ① 研究対象:当センターこころの診療部小枝幼児外来にて2020年8月～2022年1月末までに自閉スペクトラム症と診断された方
- ② 研究期間:倫理審査委員会～2023年3月
- ③ 研究方法:通常診療内で行う検査(発達検査、PARSやかかわり指標などの質問紙、ADOS-2,視線計測装置)の結果を用いて分析します。
- ④ て、AI学習にて、より診断精度の高い

3. 研究に用いる情報の種類

発達検査、PARSやかかわり指標などの質問紙、ADOS-2、視線計測装置の結果

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

学会発表、論文投稿(国内外)を予定しております。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲
内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代
理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年4月30日
までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じるこ
とはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター こころの診療部 小枝 達也
TEL：03-5494-7120（内7091）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター こころの診療部 小枝 達也